

Interview @ KIZUNA

留学生ラウンジ「きずな」の取り組みとして、本学留学生の日々の学生生活などについて取り上げるインタビューを2022年1月31日に実施しました。

今回インタビューを受けてくれたのは、農学研究科 地域環境科学専攻 農村計画学の博士課程に在籍中の江 欣樺(ちゃん しんほあ)さんです。

江さんは、留学生ラウンジ「きずな」のチューターを長年務めた学生です。

インタビューの進行を担当したのは、留学生ラウンジ「きずな」でチューターを務める本学の学生の“たまみ”さんと“ありん”さんの2名です。今回のインタビューは日本語で行われました。

(今回の取り組みは、本学の新型コロナウイルス感染症対策に準じて行いました。)

1.自己紹介をお願いします。

江 欣樺(ちゃん しんほあ)と申します。出身は台湾の台北市です。専攻は、農学研究科 地域環境科学専攻 農村計画学の博士課程です。

2.日本に留学されたきっかけは何ですか。

日本を選んだ理由の一つとしては、時間的に近い事です。

日本から台湾へは、飛行機を利用して、およそ3時間30分で移動できるので、気軽に帰ることが出来るという利点がありました。

また、文化や言葉になじみがあることも日本へを留学に選んだ理由の一つです。そして、京都という町が好きでした。



3. 農学研究科 地域環境科学専攻 農村計画学の博士課程では、どんな勉強をしていますか。

水資源管理における、法制度や科学技術と、市民社会の関係について研究しています。

参考：京都大学農学部・農学研究科

<https://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/>

4. 京都の好きなところはどこですか。

京都の好きなところは暮らしやすいところですね。満員電車ではなく、自転車で移動ができますし、ちょうどいいサイズ感の町です。お寺や神社などの古い建物があるのも京都の好きなところです。

5. 「きずな」でアルバイトしてみようと思ったきっかけは何ですか。

京都大学でアルバイトできるものを探そうとっていて、たまたま募集チラシを発見しました。

そして、アルバイトの内容も私に合ってたし、他のアルバイトと比べると給料も良かったので、応募してみました。そして、縁があって採用されました。

もともときずなのイベントに参加していたわけではありませんでした。ほんとに偶然でした。4月に入学して10月にきずなのアルバイトを開始しました。「きずな」のチューターの中では、一番ベテランです。



6. きずなのおすすめの月例イベントは何ですか。

コロナ前に対面で実施していた、日本舞踊です。日本舞踊の先生は、姿勢や立ち振る舞いについて一生懸命教えてくれます。ほとんどの参加者が初心者なのですが、先生が一つ一つ丁寧に教えてくれるので、楽しいと思います。モノづくり系もおススメしたいですね。作った小物は家に飾ったりします。みんなでするワークショップは楽しいですよ。

参考：京都大学「きずな月例イベント」

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna/event>

7. コロナの影響でイベント活動がオンライン化しましたが、対面の時と比較してみてもうかがえますか。

対面でのイベントの際は、参加者が何か質問したがっているなあなど、その場の雰囲気や表情をすぐに感じ取ることが出来ました。しかし、オンラインですと、参加者がどのように思っているかを感じ取ることが難しいなと感じました。オンラインでイベントを実施する際は、画面上で、参加者との距離感を保つのが難しいなと感じています。

8. 「きずな」を知らない京大生に向けて、魅力を伝えるメッセージをお願いします。

アットホームな雰囲気の施設です。きずなでは、優しいスタッフが気軽に接してくれますよ。

何があっても気軽に入れる場所と思っていますので、皆さん是非「きずな」に来てください。

アットホームと言っても、仲がいい人だけの内輪のつながりではなくて、本当に誰でも大歓迎なところが良いですよ。トイレの場所が分からなくても、教室の場所が分からないとかも、ここに来てもらったら、地図も色々あるので、ご案内できます。

参考：留学生ラウンジ きずな

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna>



9. 将来の展望は？卒業後どんな進路に向かうのか気になります。

大学で研究員として働く予定です。

そのうちまた海外に行ってしまうかもしれませんが(笑)

研究室の先生や先輩方に「独身であるうちに遠くまで行け」と言われたことがあって、30代前半ぐらいまでどこか遠くまで行きたいなと漠然とですが思っています。

行先はその時の直感とご縁に任せようと思っています。

10. 江さんの「学生のうちにやっておくべきこと」はなんですか。

学部生の時はやりたい授業を全部取って、やりたいサークルを全部した方がいいと思います。学部生のうちは興味のある授業は全部履修できる環境にありますし、何より若くて体力がありますからね(笑)

だから学部生のうちに取りたい授業を全部取った方がいいです。何教科取っても、授業料は一緒ですしね。

11. 日本語、英語に加えて韓国語やスペイン語、インドネシア語も学ばれているそうですが、言語学習のモチベーションや方法を教えてください。

例えば毎日髪の毛を乾かす15分間に勉強したりします。1日15分間を何か月何年間続けたら、ある程度上達できるからです。毎日コツコツと勉強します。例えば気合を入れて、1日8時間勉強したら、三日坊主になっちゃうからです。日本語は元々中学生の時から勉強していました。本格的に勉強したのは、大学生の時期でした。

それから、日本語関連の翻訳や通訳のアルバイトを行う機会があり、その経験を通して日本語の理解を深めました。日本語を勉強するために私が行ったことは、まずは環境を変化させました。

スマホやパソコンの使用言語を日本語に設定したのです。

そして、日本語の発音を勉強したいときは、日本のアニメを見ることもおすすめです。

アニメは日本語の発音がはっきりとしているのです。

12. 留学生と交流したいけど勇気が出ない…という学生にメッセージをお願いします。

気軽にコミュニケーションを取ってほしいです。発音や文法が完璧でなくても、会話が通じたらそれでいいのです。

私も知らない人と話すことは勇気がいりますし、私にとっても難しい事なのですけどね。

「きずな」チューターより「インタビューを終えて」

“たまみ”さん

「きずな」のチューターで2年間お世話になった江さんについて、さらに深く知る機会になりました。研究や学ぶことへの思いがインタビューを通じて伝わってきて刺激的でした。

“ありん”さん

きずなチューターとしての江さんは明るく親しみやすい先輩という存在ですが、インタビューでは博士課程学生としての一面をお聞きし、刺激を受けました。江さんを見習い、私も学部生のうちに専攻でない分野でも興味のあることをしっかり学びたいです。

